



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 WDBホールディングス株式会社
 コード番号 2475 URL <https://www.wdbhd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野敏光
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 大塚美樹
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 079-287-0111

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	10,709	4.0	1,206	3.8	1,206	4.4	630	14.6
2019年3月期第1四半期	10,293	14.1	1,254	24.7	1,262	24.0	737	32.7

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 609百万円 (13.8%) 2019年3月期第1四半期 707百万円 (35.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	31.77	
2019年3月期第1四半期	37.19	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	23,730	16,615	70.0
2019年3月期	23,462	16,273	69.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 16,615百万円 2019年3月期 16,273百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		9.00		13.50	22.50
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		11.00		16.50	27.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,220	8.8	2,424	2.3	2,432	2.8	1,532	0.4	77.22
通期	46,638	12.2	4,990	0.6	5,000	0.2	3,100	6.1	156.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	20,060,000 株	2019年3月期	20,060,000 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	220,763 株	2019年3月期	220,725 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	19,839,237 株	2019年3月期1Q	19,839,441 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調にあります。米中の通商問題による国内景気への影響については、依然として不透明な状況が続いております。

国内の雇用情勢におきましては、厚生労働省が発表した2019年6月の有効求人倍率(季節調整値)が、1.61倍と、前月を0.01ポイント下回りました。また、総務省が発表した2019年6月の完全失業率(季節調整値)が、2.3%と、前月を0.1ポイント下回っております。人手不足の市場環境が続いており、派遣スタッフの獲得は困難な状況であります。

当社グループは、化学・バイオ分野を中心とした理学系研究職派遣、機械・電子・IT分野を中心とした工学系技術職派遣および事務職派遣を行う「人材サービス事業」、医薬品・医薬部外品等の基礎研究における実験業務と臨床試験以降の開発業務および市販後調査業務の代行・支援を行う「CRO事業」、ガスインジェクション装置などの製造・販売や、インターネットを利用した新たなビジネスモデルを創出する「その他事業」、当社グループの支援を行う「グループ戦略補助事業」からなり、当社及び子会社23社で構成されております。

当社グループの中核事業である「人材サービス事業」では、WDB株式会社において、より顧客に密着したサービスを展開するため、営業拠点の新規開設を行いました。具体的には、2019年4月に長崎オフィス、青森オフィス、秋田オフィス、5月に千里支店、鳥取オフィス、6月に津山オフィス、豊田支店を新設しております。スタッフ養成のための研修所についても、スタッフの利便性向上を図るため、2019年4月にテクラボ千葉、テクラボ川崎1、6月にテクラボ徳山、テクラボ神田を新設致しました。営業拠点の新設、営業担当の大幅な増員、研修所の新設および研修メニューの追加を行うことで、派遣依頼の件数ならびに派遣可能なスタッフ数を増加させ、より多くの受注につなげてまいります。スタッフの確保は引き続き厳しい状況が予想されますが、地域に密着した営業活動の実施や、当社グループ独自の研修制度の充実により、今後も様々な顧客ニーズにお応えしてまいります。

「CRO事業」では、WDBココ株式会社(WDBアイシーオー株式会社より社名変更)を中心とした各社の業績が堅調に推移しております。日本、フィンランド、アメリカおよびインドの各拠点が連携し、今後の成長とグローバルCRO体制の構築を目指して営業活動を行っております。

「その他事業」では、カケンジェネックス株式会社の業績が堅調に推移しております。

以上のような活動の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、10,709百万円(前年同期比4.0%増)となりました。

営業利益は、1,206百万円と前年同期と比べ47百万円(前年同期比3.8%減)の減益となりました。また、経常利益は、1,206百万円と前年同期と比べ55百万円(前年同期比4.4%減)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、630百万円と前年同期と比べ107百万円(前年同期比14.6%減)の減益となりました。なお、当社が重視している指標である売上高経常利益率は11.3%となりました。

セグメントごとの経営成績は、次の通りであります。

①人材サービス事業

当セグメントの売上高は、9,574百万円と前年同期と比べ347百万円(前年同期比3.8%増)の増収となりました。前年同期に比べ、営業日数が3日間少なかった影響を受けたことが、3.8%の増収に留まった主な要因であります。一方、営業拠点の新設、営業担当の大幅な増員、研修所の新設および研修メニューの追加により販管費が増大した結果、セグメント利益(営業利益)は、1,198百万円と前年同期と比べ80百万円(前年同期比6.3%減)の減益となりました。

(注)セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

②CRO事業

WDBココ株式会社を中心とした各会社の受注が堅調に推移したことにより、売上高は1,081百万円と前年同期と比べ210百万円(前年同期比24.1%増)の増収、セグメント利益(営業利益)は、139百万円と前年同期と比べ103百万円(前年同期比289.7%増)の増益となりました。

(注)セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

③その他

2018年12月にWDB機能化学株式会社を解散し、株式会社WDB環境バイオ研究所の全株式を売却した影響により、売上高は54百万円と前年同期と比べ141百万円(前年同期比72.4%減)の減収、セグメント損失(営業損失)は19百万円と前年同期と比べ38百万円(前年同期はセグメント利益18百万円)の減益となりました。

(注)セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は23,730百万円となり、前連結会計年度末と比較して267百万円の増加となりました。負債につきましては、7,115百万円となり、前連結会計年度末と比較して73百万円の減少となりました。また、純資産は16,615百万円となり、前連結会計年度末と比較して341百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想は、2019年5月10日に発表いたしました業績予想からの変更はありません。

なお、当社では剰余金の配当に関する方針を定めております。詳細は、当社ウェブサイト「配当金・株主還元に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,362,821	13,094,337
受取手形及び売掛金	5,073,394	5,237,137
たな卸資産	155,459	161,820
その他	555,825	830,588
貸倒引当金	△340	△205
流動資産合計	19,147,161	19,323,678
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,484,970	1,539,270
土地	748,080	748,080
その他(純額)	205,225	233,475
有形固定資産合計	2,438,276	2,520,826
無形固定資産		
のれん	398,637	368,782
その他	35,239	34,422
無形固定資産合計	433,876	403,204
投資その他の資産		
投資有価証券	97,396	93,715
敷金及び保証金	569,959	741,070
繰延税金資産	477,553	349,973
貸倒引当金	△22,038	△22,039
その他	320,708	320,182
投資その他の資産合計	1,443,579	1,482,902
固定資産合計	4,315,732	4,406,933
資産合計	23,462,893	23,730,611
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,949,709	2,228,883
未払金	1,013,066	979,888
未払法人税等	1,063,653	283,871
未払消費税等	744,186	770,529
賞与引当金	591,661	504,222
その他	948,556	1,410,856
流動負債合計	6,310,832	6,178,253
固定負債		
役員退職慰労引当金	415,477	423,380
退職給付に係る負債	172,441	177,274
資産除去債務	123,250	155,435
その他	167,099	180,860
固定負債合計	878,268	936,950
負債合計	7,189,101	7,115,203

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	218,024	218,024
利益剰余金	15,754,806	16,117,256
自己株式	△743,471	△743,591
株主資本合計	16,229,359	16,591,689
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,545	19,103
為替換算調整勘定	23,675	4,881
退職給付に係る調整累計額	△789	△266
その他の包括利益累計額合計	44,432	23,718
純資産合計	16,273,791	16,615,407
負債純資産合計	23,462,893	23,730,611

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	10,293,230	10,709,408
売上原価	7,641,832	7,837,521
売上総利益	2,651,398	2,871,886
販売費及び一般管理費	1,397,030	1,665,077
営業利益	1,254,368	1,206,808
営業外収益		
固定資産税還付金	8,551	-
中途解約収入	-	755
その他	6,280	2,265
営業外収益合計	14,832	3,021
営業外費用		
為替差損	759	1,006
消費税差額	4,328	8
その他	2,073	2,311
営業外費用合計	7,161	3,326
経常利益	1,262,038	1,206,503
特別利益		
固定資産売却益	266	281
事業譲渡益	11,824	-
特別利益合計	12,090	281
特別損失		
固定資産除却損	29	22,794
特別損失合計	29	22,794
税金等調整前四半期純利益	1,274,100	1,183,990
法人税、住民税及び事業税	388,614	418,826
法人税等調整額	147,689	134,883
法人税等合計	536,304	553,710
四半期純利益	737,796	630,280
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	737,796	630,280

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	737,796	630,280
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,026	△2,442
為替換算調整勘定	△23,682	△18,794
退職給付に係る調整額	93	522
その他の包括利益合計	△30,615	△20,714
四半期包括利益	707,180	609,566
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	707,180	609,566
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	人材サービス事業	CRO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,226,702	870,829	10,097,531	195,698	10,293,230
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,331	—	6,331	—	6,331
計	9,233,034	870,829	10,103,863	195,698	10,299,562
セグメント利益	1,279,374	35,700	1,315,075	18,752	1,333,827

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有機化合物製造事業、魚介類の養殖販売事業及び射出成形補助装置の製造開発事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,315,075
「その他」の区分の利益	18,752
全社費用(注)	△79,459
四半期連結損益計算書の営業利益	1,254,368

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	人材サービス事業	CRO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,574,224	1,081,075	10,655,300	54,107	10,709,408
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,595	—	7,595	—	7,595
計	9,581,820	1,081,075	10,662,896	54,107	10,717,003
セグメント利益	1,198,910	139,140	1,338,051	△19,270	1,318,780

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、射出成形補助装置の製造開発事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,338,051
「その他」の区分の利益	△19,270
全社費用(注)	△111,971
四半期連結損益計算書の営業利益	1,206,808

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。